

政策シート 政策名 04 新規創業や新事業展開の促進

予算費目名 01 産業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 01 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

産学官金が連携して本市における創業を促進するため、創業相談窓口を設置し、創業を希望する人への創業支援や創業者のコミュニティ形成を図る。また、高校生等、次世代の起業家マインドの醸成を図る。地域の企業が有する優れた技術や経営資源を未来に引き継ぐため、中小企業の円滑な事業承継を支援し、後継者不在による廃業の防止を図る。
はままつ起業家カフェを商工会議所会館内で移転・拡充する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③成長・雇用	④教育								
--------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	99,128	43,764	55,551	63,208	72,878	
決算	90,863	39,152	44,185	63,208		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	61,600	40,180	15,400	15,400	21,000	
年間経費(予算又は決算+A+B)	152,463	79,332	59,585	78,608	93,878	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
創業支援事業に伴う新規創業数(法人+個人) 【累計】(2016~2024)	件	目標	—	1,785	2,155	2,535	2,925	3,325
		実績	1,465	1,810	2,175	2,650		
事業承継相談の件数(2019~累計)(件)	件	目標	50	100	120	140	160	180
		実績	41	45	55	—	—	—
事業承継普及訪問の件数(2020~累計)(件)	件	目標	—	—	—	800	1,200	1,500
		実績	—	40	384	1,008		

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

インキュベーション施設である浜松イノベーションキューブへの入居5年未満の企業に対し、家賃補助やインキュベーションマネージャーによる経営・技術支援等についてのアドバイス支援を行った。
創業支援の総合窓口である「はままつ起業家カフェ」では、4名の相談員による伴走型の相談支援を行うとともに、事業承継による創業を支援する「ツグはまコンシェルジュ」を開設した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
浜松イノベーションキューブ入居者は、17件が入居して、入居率が66.0%→93.6%と大幅に改善された。賃料補助、経営・技術支援等を行い、入居者に対し事業化や新事業展開等を促進した。 はままつ起業家カフェの延相談件数は1,251件、創業支援事業に伴う新規創業数の累計2,650件、事業承継普及件数は、累計1,008件となり積極的な事業展開を図ることができた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	創業支援事業	○	○		86,141	72,141	2.0				
2	産業振興運営経費(一般諸経費のみ)	-	-		7,737	737	1.0				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					93,878	72,878	3.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 創業支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

小中高校生を対象にした次代の起業家育成事業や、独立・起業に関心のある人や創業希望者を対象にした、ワンストップ型の創業支援窓口「はままつ起業家カフェ」の運営を通じて、市域の創業機運の醸成を図りながら、新規創業者数の増加を目指す。地域の企業が有する優れた技術や経営資源を未来に引き継ぐため、中小企業の円滑な事業承継を支援し、後継者不在による廃業の防止を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2015	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(3)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

								⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性	小中高校生を対象にした次代の起業家育成事業や、独立・起業に関心のある人や創業希望者を対象にした、ワンストップ型の創業支援窓口「はままつ起業家カフェ」の運営を通じて、市域の創業機運の醸成を図りながら、新規創業者数の増加を目指す。事業承継の普及啓発や相談、創業型事業承継に取り組む。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	94,986	41,166	54,088	62,294	72,141	
	決算	87,104	36,554	43,292	62,294		
	国・県支出	2,238					
	市債						
	その他	1,312					
	一般財源	83,554	36,554	43,292	62,294	72,141	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		42,700	15,680	15,400	15,400	14,000	
人工	正規	6.1	2.2	2.2	2.2	2.0	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1				
年間経費(予算又は決算+A+B)		129,804	52,234	58,692	77,694	86,141	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
法人開業数(件)【2019～累計】		目標	850	1,700	2,550	3,400	4,250	5,100
		実績	875	1,844	2,999	2023.9頃確定		
創業支援事業に伴う新規創業者数(法人登記数)(人)		目標	120	125	128	130	130	130
		実績	130	98	120	163		
創業支援事業に伴う新規創業者数(法人+個人)(件)【2016～累計】	I-1(3) イ	目標	—	1,785	2,155	2,535	2,925	3,325
		実績	1,465	1,810	2,175	2,650		
事業承継普及訪問の件数(2020～累計)(件)		目標	—	—	—	800	1200	1500
		実績	—	40	384	1,008		
事業承継相談の件数		目標	50	100	120	140	160	180
		実績	41	45	55	—	—	—

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ①はままつ起業家カフェの運営
- ②創業者支援施設の入居者への支援: HI-Cube入居者に対する支援
- ③小中高校生向け起業家育成講座(次世代起業家育成事業)
- ④高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト等
- ⑤事業承継支援事業
 - ・事業承継への取組みが必要と考えられる事業所について、事業承継普及員による普及・啓発活動を実施
 - ・税理士・中小企業診断士等の専門家が中小企業を訪問し、事業承継相談に応じる訪問型支援を実施(商工会議所・商工会と共同実施)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題
 指標の達成度
 - ・浜松イノベーションキューブに入居するベンチャー等に対し、賃貸補助、専門家による経営・技術支援等を行い、開発テーマの事業化や新事業展開や新分野への進出を促進させることができた。
 - ・「はままつ起業家カフェ」を中心に、地域の創業支援機関との連携を図り、創業支援事業に伴う新規創業者数は2,650件となった。
 - ・はままつ起業家カフェの延相談件数は1,251件、新規創業件数95件となった。
 - ・事業承継普及員による普及活動は、624件に対し、訪問普及活動を実施することができ、累計1,008件となった。
 - ・訪問型支援は、相談会場に出向くことが難しい企業を対象としていることや、コロナ禍で訪問が敬遠されたこともあり、支援件数1件であったが、利用者からは高い評価を得ている。
 - ・今後は、普及対象事業所の把握や後継者不在企業に対する支援が課題である。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
 ・新型コロナウイルス感染症対策の緩和やウクライナ情勢、円安、物価上昇など社会環境の変化は、創業希望者にとっても、業種や開業時期、支援のニーズなどに影響を及ぼす。



6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・浜松イノベーションキューブに入居するベンチャー企業に対し、貸室等の賃料補助、経営・技術支援等を行い、事業化や新事業展開等を促進した。入居者は、17件が入居して、入居率が66.0%→93.6%と大幅に改善された。
 - ・はままつ起業家カフェの延相談件数は1,251件、新規創業件数95件であり、順調な事業展開を図ることができた。
 - ・事業承継による創業を支援するため、はままつ起業家カフェで「ツグはまコンシェルジュ」を開始した。
- (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・浜松イノベーションキューブ入居企業への賃料補助の補助率を1/2とする。
 - ・次世代自動車センターの拡充に伴い、はままつ起業家カフェを商工会議所会館内で移転・拡充、セミナー室やキッズスペースの設置を行う。また、外国人の創業希望者に対応できるよう多言語対応を行う。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ①はままつ起業家カフェの運営
- ②創業者支援施設の入居者への支援: HI-Cube入居者に対する支援
- ③小中高校生向け起業家育成講座(次世代起業家育成事業)
- ④高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト等
- ⑤事業承継支援事業

事業シート (事業名) 02 産業振興運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

産業振興課業務を円滑に進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2011		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,142	2,598	1,463	914	737	
	決算	3,759	2,598	893	914		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,759	2,598	893	914	737	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	18,900	24,500			7,000	
人工	正規	2.7	3.5			1.0	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		22,659	27,098	893	914	7,737	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

産業振興課業務における組織運営経費。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)



(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)



産業振興課業務における組織運営経費。

政策シート 政策名 04 新規創業や新事業展開の促進

予算費目名 02 スタートアップ推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 01 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

・本市において、ものづくりを中心に革新的な技術やビジネスアイデアを持つスタートアップの創出や、市内スタートアップの成長を加速させる環境を整備するとともに、首都圏等からも優れたビジネスやアイデアを持つスタートアップの誘致を進める。このことにより、スタートアップが生まれ、集まり、育つエコシステムを持つ都市「浜松バレー」を実現していく。

・今年度は、多様なスタートアップの創出・誘致、成長ステージに応じたスタートアップ支援、スタートアップと地域企業との融合、スタートアップを活用した社会課題解決の推進等に取り組む。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑩イノベーション							
--------	----------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	160,451	742,674	595,137	459,021	476,482	
決算	149,775	693,768	559,705	395,719		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	44,800	43,400	72,800	79,800	65,800	
年間経費(予算又は決算+A+B)	194,575	737,168	632,505	475,519	542,282	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
スタートアップの創業数	社/年	目標	—	10	15	20	27	35
		実績	16	31	18	22		
市内企業に対するファンドの年間投資額	百万円	目標	190	500	1,000	1,500	2,000	3,000
		実績	2,980	5616	4,615	2,215		
スタートアップの誘致数	社/年	目標	1	4	6	8	10	12
		実績	4	25	19	19		

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

革新的な技術やビジネスアイデアを持つスタートアップの創出や、市内スタートアップの成長を加速させる環境を整備するとともに、首都圏等からも優れたビジネスやアイデアを持つスタートアップの誘致を進めた。また、本市に集積したスタートアップと地域企業の協業促進に取り組んだ。

■主な実施事業…ファンドサポート事業、実証実験サポート事業、Next Innovator育成事業、「ものづくり×スタートアップ」によるイノベーション創出促進事業、スタートアップ成長支援事業、次世代代理数系人材育成事業、トライアル・サテライトオフィス運営、首都圏拠点誘致事業、スタートアップ支援PR事業、スタートアップビザ、首都圏ビジネス情報センター、各種補助金など

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 進んでいる

Next Innovator育成事業やスタートアップ成長支援事業では、創業前の経営者等に対するビジネスプランのブラッシュアップや相談対応などを行い、スタートアップ創業数の増につながった。ファンドサポート事業では、VC47社を認定し、スタートアップ8社に212百万円の交付金を交付するなど、市内スタートアップへの投資促進を進めた結果、ファンドから市内スタートアップへの投資増につながった。首都圏ビジネス情報センターでは、スタートアップ延べ307社への訪問するなど誘致活動を進め、スタートアップの市内誘致につなげることができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	スタートアップ支援事業	○	○		446,633	417,233	4.2				
2	スタートアップ誘致事業	○	○		55,706	42,406	1.9				
3	首都圏ビジネス情報センター事業	○	○		29,068	13,668	2.2				
4	スタートアップ推進デジタル運営経費				2,852	1,732					0.4
5	スタートアップ推進運営経費				8,023	1,443	0.7				0.6
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					542,282	476,482	9.0				1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 スタートアップ支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市内スタートアップの創出や成長を後押しする各種事業を実施するとともに、地域企業との協業促進による新たなビジネスや製品の創出につなげ、本市におけるスタートアップエコシステム構築の実現を通じた地域経済の活性化を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2016	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(3)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑩イノベーション								
事業とゴールの関連性	市内スタートアップ等の資金調達手法の拡大や、製品開発のための実証実験、経営力アップ等の支援を通じて、新しいビジネスの創出、技術力の向上、事業拡大につなげ、地域内における新しいイノベーションの創出や雇用拡大を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	105,524	685,482	566,743	402,156	417,233	
	決算	102,605	659,462	515,101	345,164		
	国・県支出	5,736	16,165	58,324	6,456	30,714	
	市債						
	その他	1,312	1,188	1,564		1,100	
	一般財源	95,557	642,109	455,213	338,708	385,419	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	21,000	25,480	38,780	41,580	29,400	
人工	正規	3.0	3.6	5.5	5.9	4.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1	0.1	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		123,605	684,942	553,881	386,744	446,633	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
スタートアップの創業数(社/年)	—	目標	—	10	15	20	27	35
		実績	16	31	18	22		
市内スタートアップに対するファンドの年間投資額(百万円/年)	—	目標	190	500	1,000	1,500	2,000	3,000
		実績	2,980	5,616	4,615	2,215		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ①ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、投資額に応じて交付金を交付。
- ②実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集し、優れたものを本市が全面的に支援し実施。
- ③Next Innovator育成事業…本市にて起業を志す人材を対象に、インキュベーションプログラムを提供し起業を支援。
- ④ものづくり×ベンチャーによるイノベーション創出促進事業…市内のものづくり企業と全国のスタートアップの協業を支援。
- ⑤スタートアップ成長支援事業…スタートアップの総合相談窓口を設置するとともに、成長に資するイベントを開催。
- ⑥次世代理工系人材育成事業…全国の高校生を対象に数学コンテストを開催。
- ⑦スタートアップ支援PR事業…本市のスタートアップ支援策をPRするためのWEBコンテンツおよびイラストを作成。
- ⑧ベンチャー支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスをを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。
など



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

ファンドサポート事業では、VC47社を認定し、スタートアップ8社に212百万円の交付金を交付した。実証実験サポート事業では、新たにスタートアップ5社を採択し、10の実証実験をサポートした。Next Innovator育成事業では、ビジネスプランのブラッシュアップを通じて、15名の起業サポートを行った。その他、各種事業の実施により、本市において新たなスタートアップ創出や、市内スタートアップに対する投資につなげることができた。今後はスタートアップエコシステムの構築に向けて多様なスタートアップの創出や、スタートアップと地域企業との協業促進に取り組む必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・岸田政権は2022年を「スタートアップ創出元年」として官民をあげてのスタートアップ創出強化を表明し、スタートアップへの期待は高まっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・あらゆるステージにおけるスタートアップの成長を支援するため、新たに「スタートアップ成長支援事業」を実施した。
- ・ファンドサポート事業において、募集枠「シード・R&D」「一般」「協業」を設けた。
- ・ベンチャー経営塾、Webベンチャーイベント等を廃止した。
- ・財源として地方創生交付金等を積極的に活用した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・次代を担う人材を育成するため、新たに「次世代スタートアップ育成事業」を実施する。
- ・効果的な事業遂行のため、「Next Innovator育成事業」と「スタートアップ成長支援事業」を統合する。
- ・地域企業とスタートアップの協業を促進するため、新たに「スタートアップ地域メンター」を委嘱する。
- ・財源としてデジタル田園都市国家構想交付金等を積極的に活用した。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ①ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、投資額に応じて交付金を交付。
- ②実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集。優れたプランを全面的に支援し実施。
- ③スタートアップ成長支援事業…スタートアップに対する総合相談窓口の設置やハンズオン支援プログラムを提供。
- ④次世代スタートアップ育成事業…本市の次代を担う人材を育成するため、場の提供、セミナー等の開催等を実施。
- ⑤「地域産業×スタートアップ」によるイノベーション創出促進事業…市内企業と全国のスタートアップの協業を支援。
- ⑥ベンチャー支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスをを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。
- ⑦スタートアップ地域メンター…スタートアップと地域企業をつなぐ地域メンターを委嘱。

事業シート (事業名) 02 スタートアップ誘致事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大都市圏をはじめとするスタートアップを本市に誘致し、本市の産業技術との融合を図り、新製品の開発、生産効率の向上、創業者の増加や新たな産業・ビジネスの創出につなげるとともに、地方への雇用や人材の流れを創り出す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2017	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(3)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑧成長・雇用								
事業とゴールの関連性	市外スタートアップ等の誘致を通じて、本市企業との協業、本市における新しいビジネスの創出、生産の効率化などにつなげ、地域内における新しいイノベーションの創出や雇用拡大を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	31,209	44,201	15,780	39,324	42,406	
	決算	27,736	22,683	33,420	34,392		
	国・県支出		3,951	9,499	5,514	20,537	
	市債						
	その他	65	2,695	2,511			
	一般財源 一般会計繰入金	27,671	16,037	21,410	28,878	21,869	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,800	3,920	12,740	14,140	13,300	
人工	正規	1.4	0.4	1.7	1.9	1.9	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4	0.3	0.3		
年間経費(予算又は決算+A+B)		37,536	26,603	46,160	48,532	55,706	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
スタートアップの誘致数	I-1(3) ア	目標	1	4	6	8	10	12
		実績	4	25	19	19		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ①はままつトライアルオフィス運営事業…都心部のワーキングスペースを運営し、スタートアップコミュニティの活性化等を図るとともに、スタートアップ誘致につなげる。
 <◆場所: サザシティ浜松中央館4階(利用時間 10:00~20:00) ◆座席数: 最大30席(約69㎡)>
- ②舞阪サテライトオフィス運営事業…浜名湖周辺地域のサテライトオフィスを運営し、市外スタートアップの誘致につなげる。
 <◆場所: 舞阪協働センター4階 ◆部屋数: 事務室6室(約30~50㎡) 共有スペース1室、管理人室1室>
- ③天竜トライアルオフィス…中山間地域のワーキングスペースを運営し、中山間地域における新しいビジネスの創出やスタートアップ誘致につなげる。
 <◆場所: 天竜区二俣町二俣1283-1 ◆座席数: 最大30席>
- ④首都圏企業拠点誘致事業…民間のノウハウ・ネットワークを活用し、戦略的な企業誘致を進める。
 ⑤ベンチャー企業等誘致パートナー制度…本市への企業誘致に協力する企業をパートナーとして認定。
 ⑥市外スタートアップ等進出支援事業費補助金…市外から市内に進出する企業の事務所賃料を補助。(上限5万円/月、補助率1/2)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

はままつトライアルオフィスは、市内において民間のワーキングスペースが多数整備されたことも影響し利用者数減となった。天竜トライアルオフィスは、コロナ禍の影響が収まりつつあり利用者数増となった。首都圏等企業拠点誘致事業では、スタートアップ等の進出を見据えた情報発信やマッチングを行い、市へのスタートアップ誘致につなげることができた。次年度は、国交省「地方都市イノベーション拠点形成事業」及び「インキュベーション施設等都市間連携プロジェクト」の採択を受けて、首都圏等企業拠点誘致事業を強化して実施(はままつスタートアップ・イノベーション拠点形成事業)する。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・2020年7月に、内閣府から「スタートアップエコシステム グローバル拠点都市」の採択を受けた。
- ・コロナ禍の影響が収まりつつあり、直接面談の機会が増えるなどコロナ前の状況に戻ってきている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・財源に地方創生交付金等を積極的に活用した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

国交省「地方都市イノベーション拠点形成事業」及び「インキュベーション施設等都市間連携プロジェクト」の採択を受けて、首都圏等企業拠点誘致事業を強化して実施(はままつスタートアップ・イノベーション拠点形成事業)する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ①ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、投資額に応じて交付金を交付。
- ②実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集。優れたプランを全面的に支援し実施。
- ③スタートアップ成長支援事業…スタートアップに対する総合相談窓口の設置やハンズオン支援プログラムを提供。
- ④次世代スタートアップ育成事業…本市の次代を担う人材を育成するため、場の提供、セミナー等の開催等を実施。
- ⑤「地域産業×スタートアップ」によるイノベーション創出促進事業…市内企業と全国のスタートアップの協業を支援。
- ⑥ベンチャー支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。
- ⑦スタートアップ地域メンター…スタートアップと地域企業をつなぐ地域メンターを委嘱。

事業シート (事業名) 03 首都圏ビジネス情報センター事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大都市圏をはじめとするスタートアップを本市に誘致し、ものづくりに特化した本市の産業技術との融合を図り、新製品の開発、生産効率の向上、創業者の増加や新たな産業・ビジネスの創出につなげるとともに、地方への雇用や人材の流れを創り出す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2016		一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑨イノベーション								
事業とゴールの関連性	首都圏スタートアップ等の誘致を通じて、本市企業との協業、本市における新しいビジネスの創出、生産の効率化などにつなげ、地域内における新しいイノベーションの創出や雇用拡大を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	23,718	12,991	12,614	13,782	13,668	
	決算	19,434	11,623	10,461	13,090		
	国・県支出				660	1,300	
	市債						
	その他	391		656			
	一般財源 一般会計繰入金	19,043	11,623	9,805	12,430	12,368	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		14,000	14,000	14,000	15,400	15,400	
人工	正規	2.0	2.0	2.0	2.2	2.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		33,434	25,623	24,461	28,490	29,068	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
企業、大学等の訪問件数		目標	350	550	550	550	550	550
		実績	563	463	564	530		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ①首都圏ビジネス情報センター事業…首都圏における企業誘致、情報収集などの活動拠点となる「首都圏ビジネス情報センター」を設置。
- ②WeWorkを活用した企業誘致事業…「WeWork」および「CIC Tokyo」のコミュニティにおいて、スタートアップ誘致活動を実施。
- ③アドバイザー委託事業…首都圏におけるスタートアップ等の誘致を支援するアドバイザーを設置。
- ④浜松スタートアップナイト開催事業…「CIC Tokyo」において、スタートアップ誘致を目的としたシンポジウムを開催。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

CIC Tokyo等での活動を中心に、509件の面談等(オンライン含む)を行い、本市情報の提供や企業情報の収集、浜松地域企業とのマッチングや首都圏スタートアップ等の誘致を行った。今後は、コロナ禍の影響が収まりつつあり、ポストコロナを意識した誘致活動に転換する必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・コロナ禍の影響が収まりつつあり、直接面談の機会が増えるなどコロナ前の状況に戻ってきている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・リアルな場でのネットワーク作りのため、新たに「浜松スタートアップナイト」を開催した。
- ・CIC Tokyoにおける活動を強化した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・リアルな場でのネットワーク作りの機会を増やすため、「浜松スタートアップナイト」の開催回数を増やす。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ①ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、投資額に応じて交付金を交付。
- ②実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集。優れたプランを全面的に支援し実施。
- ③スタートアップ成長支援事業…スタートアップに対する総合相談窓口の設置やハンズオン支援プログラムを提供。
- ④次世代スタートアップ育成事業…本市の次代を担う人材を育成するため、場の提供、セミナー等の開催等を実施。
- ⑤「地域産業×スタートアップ」によるイノベーション創出促進事業…市内企業と全国のスタートアップの協業を支援。
- ⑥ベンチャー支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。
- ⑦スタートアップ地域メンター…スタートアップと地域企業をつなぐ地域メンターを委嘱。

事業シート (事業名) 04 スタートアップ推進デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スタートアップ推進課のデジタルを使用した業務を円滑に進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略		(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				1,808	1,732	
	決算			179	1,807		
	国・県支出				825	792	
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			179	982	940	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				560	1,260	1,120	
人工	正規				0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.2	0.4	
年間経費(予算又は決算+A+B)				739	3,067	2,852	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

①ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、投資額に応じて交付金を交付。

②実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集。優れたプランを全面的に支援し実施。

③スタートアップ成長支援事業…スタートアップに対する総合相談窓口の設置やハンズオン支援プログラムを提供。

④次世代スタートアップ育成事業…本市の次代を担う人材を育成するため、場の提供、セミナー等の開催等を実施。

⑤「地域産業×スタートアップ」によるイノベーション創出促進事業…市内企業と全国のスタートアップの協業を支援。

⑥ベンチャー支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。

⑦スタートアップ地域メンター…スタートアップと地域企業をつなぐ地域メンターを委嘱。

事業シート (事業名) 05 スタートアップ推進運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スタートアップ推進課業務を円滑に進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	(施策)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				1,951	1,443	
	決算			544	1,266		
	国・県支出						
	市債						
	その他			544	1,266	1,443	
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				6,720	7,420	6,580	
人工	正規			0.8	0.9	0.7	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.4	0.4	0.6	
年間経費(予算又は決算+A+B)				7,264	8,686	8,023	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

①ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、投資額に応じて交付金を交付。
②実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集。優れたプランを全面的に支援し実施。
③スタートアップ成長支援事業…スタートアップに対する総合相談窓口の設置やハンズオン支援プログラムを提供。
④次世代スタートアップ育成事業…本市の次代を担う人材を育成するため、場の提供、セミナー等の開催等を実施。
⑤「地域産業×スタートアップ」によるイノベーション創出促進事業…市内企業と全国のスタートアップの協業を支援。
⑥ベンチャー支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。
⑦スタートアップ地域メンター…スタートアップと地域企業をつなぐ地域メンターを委嘱。